

令和4年度 会務・事業報告

【会務の総括】

令和4年度も依然として感染状況を鑑みながらの会務運営と事業実施となったが、これまでの経験によるその時々状況に柔軟に対応した集合+Webのハイブリッド形式で各会義の開催が出来ている。特に11月の年次研修は直前まで集合かWebか判断に悩んだ末YouTube配信で実施、3月の第2回本会研修は久しぶりの集合形式により開催され多くの参加者と対面することが叶い、過去4年余りの感染症対策の閉そく感からの脱却を実感することが出来た。

猪飼会長以下新体制での執行部として二年目となる本年度は一定の成果を目標にしてきたが、その一つの柱である会の健全な運営、組織の強化、充実・発展を目的とする支部再編の検討にあっては、各ブロック代表支部長を中心とした検討委員会での議論を基に支部長会及び理事会での協議を重ね、本年1月各支部の現状に即した最終再編案が答申されるに至った。新年度総会において承認を得られれば本会運営の大きな改革がスタートすることになる。再編の完全移行には具体的な支部間協議等が必要で当面は準備試行期間を要するが、改革へ舵は切られることとなる。併せて会務運営の効率化と事務の合理化のため、再編に伴う会則・諸規定の改正をはじめ感染症等に対応するガイドラインや会則等諸規定の整備を逐次進めてきた。また近年増加している苦情は本年度も複数件寄せられており会員指導を行ってきたが、最近の世情を反映して案件によっては陰湿化や粘着性を帯びた誹謗中傷の類が散見される。あらためて会員への注意喚起を行うとともに職務規定、倫理規定の順守と土地家屋調査士としての研鑽の取り組みの必要性を感じる一年であった。

その他大きな行事として計画されていた関東ブロック協議会親睦ゴルフ大会は長野会が当番会として準備と運営にあたったが、10月に開催され参加者から大好評を頂きホスト会としても満足がいく開催となったことを記し総括報告としたい。

以下会務・事業についての実施状況概要。（各事業部報告詳細は後述）

1. 正副会長会議 各部の活動の他、理事会・支部長会対応について執行部役員間で情報や進捗状況、課題等を共有することに努めるとともに、緊急の課題や会務方針について協議する場としてほぼ毎月開催した。
2. 理事会 理事全員が本会の活動を理解し、地元支部と本会との連携に取り組んだ。
3. 支部長会議 支部代表である支部長と本会執行部との意見交換を目的に、正副会長部長との合同会議と併せ開催し、本会への意見・要望事項の聴き取りとともに、本会事業の理解とお願い等に努めた。
4. 関東ブロック協議会担当者会同への参加
11月に東京調査士会館にて総務、業務、研修担当の各会代表が単位会で抱える問題について意見交換を行った。他会の活動を当会の業務改善に活かせるよう取り組んだ。